



LEICA NOCTILUX-M 35 f/1.2 ASPH.

テクニカルデータ

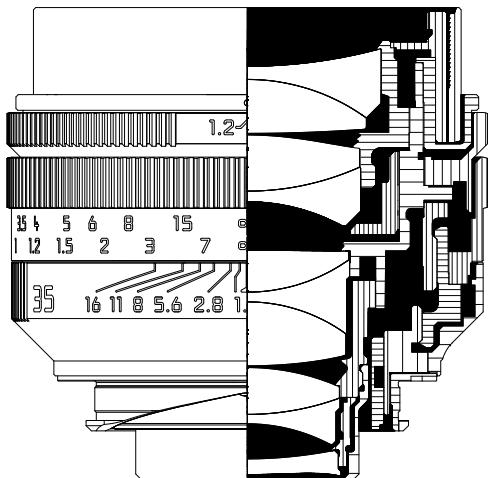


レンズ	ライカ ノクティルックスM f1.2/35 ASPH.
製品コード	11635
画角 (対角/水平/垂直) 35mm判換算(24x36mm)	63,3° / 54,3° / 37,7°
光学設計	
レンズ構成	5群10枚
非球面数	3面
入射瞳位置	24.5 mm
合焦範囲	0.5m~∞
測距	
スケール	メートル(m)、フィート(ft)表記
最小撮影面積	35mm判換算: 277x416 mm
最大撮影倍率	1:1.6
絞り	
設定方法	クリックストップ絞り、目盛り間の中間値設定可
最小絞り	16
絞り羽根枚数	11
レンズマウント	ライカMマウント (6ピットコード付)
フィルター取り付け部	E49
レンズフード	組み込み式
寸法	
長さ	約50.2mm
直径	約64.6mm
質量	約416g

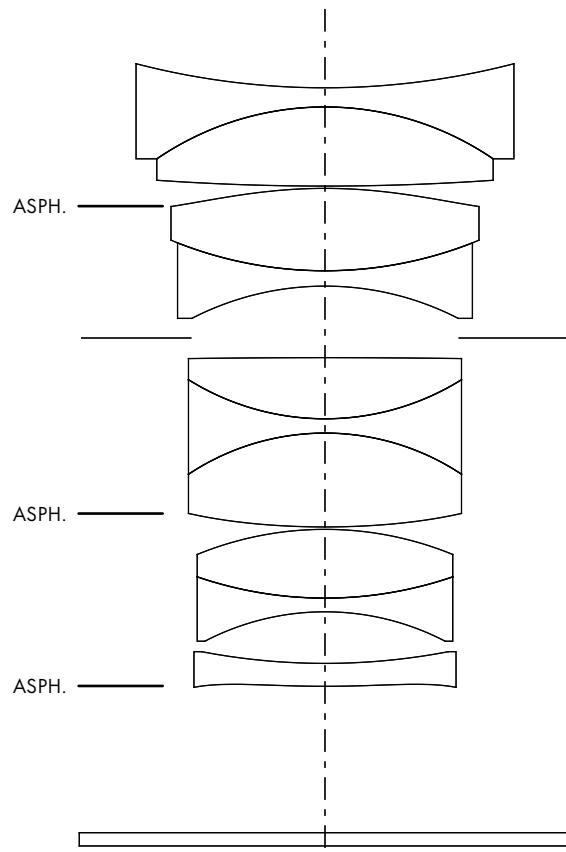


LEICA NOCTILUX-M 35 f/1.2 ASPH.

技術図面



断面図

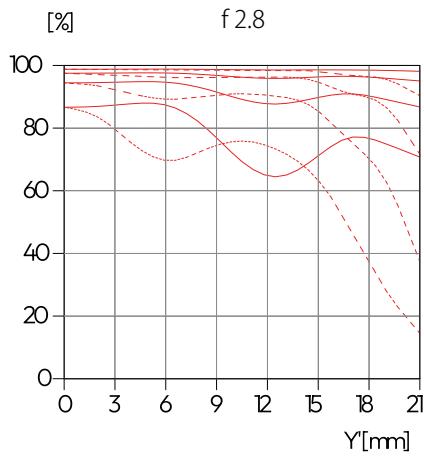
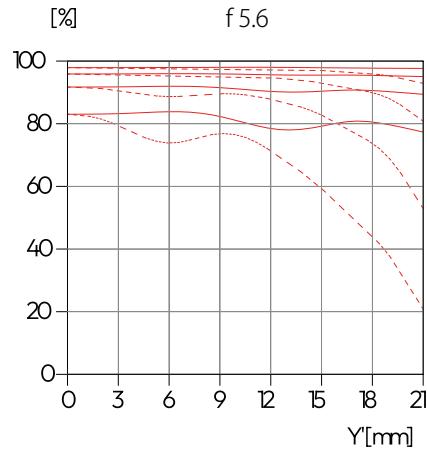
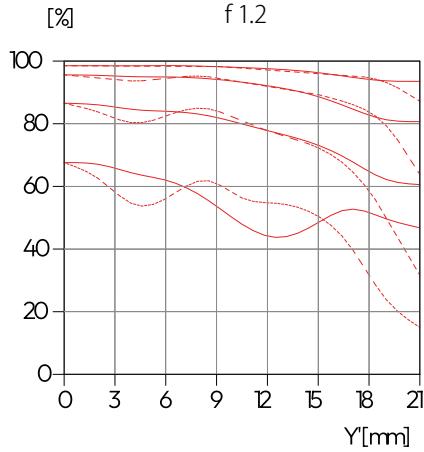


縮尺 1:1



LEICA NOCTILUX-M 35 f/1.2 ASPH.

MTFチャート



— サジタル
- - - タンジェンシャル

MTF曲線

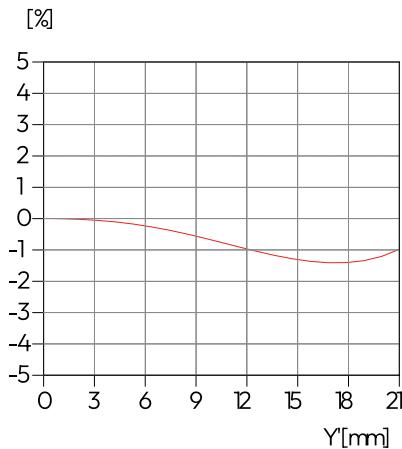
MTFは開放絞り、f/2.8とf/5.6（無限）ごとにグラフ化されています。パーセントで表示されているのは、5、10、20、40lp/mmのタンジェンシャル（破線）とサジタル（実線）の白色光の下でのコントラストです。5および10lp/mmの場合、コントラストの動きが荒く、20および40lp/mmの場合にはより細かい、最高の解像度を表します。



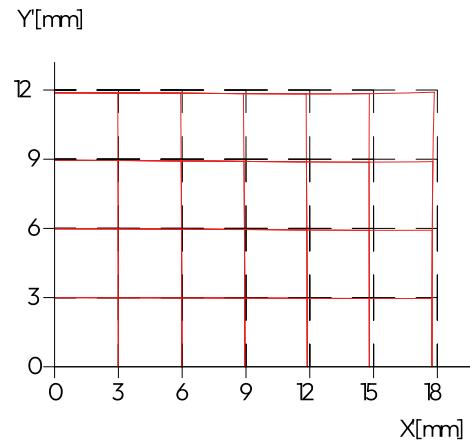
LEICA NOCTILUX-M 35 f/1.2 ASPH.

ディストーション

相対ディストーション値

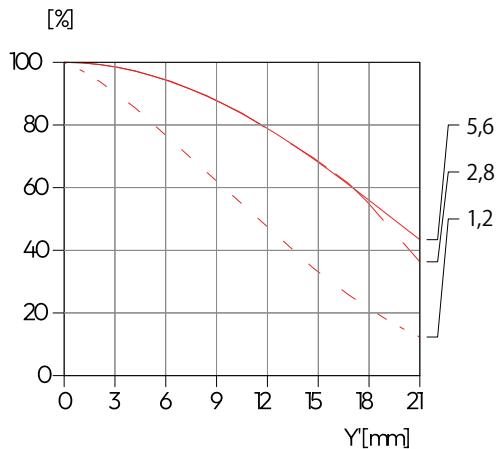


有効ディストーション値



ビネッティング

ビネッティング



ディストーション

ディストーションとは、対象物の高さと画像の縮尺から算出した像の高さの理論値と実際の像の高さを比較した偏差です。相対ディストーション値とは像の高さの理論値と実際の数値の偏差をパーセント表示したものです。21.6 mmの像の高さは撮影範囲のある一角から中央までの半径方向の距離です（画像フォーマットが24 mm×36 mmの場合）。有効なディストーション値をグラフ化すると、実際の経路と画面内の水平方向と垂直方向の線の曲率が明確に表されます。

ビネッティング

ビネッティングとは画像の隅の方向に行くにつれて画像の明るさ（照度）が次第に減少していくことです。（口径食とも言い、画面の角が暗くなる）グラフでは明るさの減少が画像の高さごとにパーセント表示で示されています。

100%の状態ではビネッティングは発生しません。